

中国 UCI シクロクロスレース遠征で RGJ 須藤・伊藤が UCI ポイント獲得！

※2015年9月9日(水)RGJ チーム速報ブログより転載

先日、こちらの RGJ チームブログでも告知していましたが、8月30日と9月2日に中国・北京と海口で開催された UCI シクロクロスレース「Qiansen Trophy Cyclo-cross」全2戦に、Ready Go JAPAN チームから須藤むつみと伊藤千紘が参戦し、9月4日に無事帰国しました。(写真撮影：abema、安田 朋子)

今回の中国 CX 参戦メンバーは以下のとおりです。(敬称略)



*Men Elite

小坂 光 (宇都宮ブリッツエンシクロクロスチーム)

向山 浩司 (SNEL CYCLOCROSS TEAM)

金子 楓 (SNEL CYCLOCROSS TEAM)

松本 駿 (TEAM SCOTT)

松尾 純 (MIYATA-MERIDA VIKING TEAM)

*Women

須藤 むつみ (Ready Go JAPAN)

伊藤 千紘 (Ready Go JAPAN)

*Staff

諏訪 孝浩 (SNEL CYCLOCROSS TEAM)

安田 朋子 (Ready Go JAPAN※)

菅田 純也 (宇都宮ブリッツエンシクロクロスチーム※)

※エントリーの登録上のチーム名です。

RGJ チーム選手は、双方ともにアジアのレース遠征は初めてでしたが、UCI 公認レースで、しかも既に北京については3年目の開催ということもあり、更には昨年までのレースに参戦経験のあるスタッフや選手も同行していたので、いろいろと事前に情報をいただきながら、ご協賛各社様やご関係者様のおかげにより急な遠征決定にも関わらず、十分な準備を整えることが出来ました。



スタートコールを待つ RGJ 須藤と伊藤

また、現地ではホスピタリティー溢れるレース運営で、いろいろと勉強しながらコース試走や日々の調整を慎重におこなうことに努めました。RGJ チームとしての目標は女子エリート 15 位以内で獲得できる「UCI ポイント」を日本に持って帰ることを使命として戦いに臨みました。



第 2 戦のスタート風景

両レースともに、エントリー状況やレースを見た感じでは、アジアからの参戦は私たちのみで、ほかアメリカやカナダ、オセアニアなど、そして欧州からの参戦選手が主となっており、地元・中国の参戦はありませんでした。

8月30日は1st race Yanqing Station(UCI・C1クラス)会場：Yanqing County, Beijing,China（北京市延慶県）で、比較的に涼しい気候ではあるものの、レースでは汗の止まらない気温で、林間部の硬いオフロードの跳ねるようなコースを駆使する平坦貴重なレイアウトでした。



北京で階段をクリアする RGJ 須藤



階段をクリアする RGJ 伊藤



北京の固い路面に堪える RGJ 須藤

女子エリートは 17 名が出走し、RGJ 須藤はトップと同一周回で完走を果たしたものの、目前で UCI ポイント獲得ならず 16 位となりました。RGJ 伊藤はマイナス 1 ラップで 17 位でした。

9月2日には2nd race Qiongzong Station (UCI・C1クラス) 会場: Qiongzong county, Hainan province, China (海南省瓊中リー族ミャオ族自治県)にて開催され、月の半分は雨が降るといふ湿気の強い蒸し暑いコンディションで、テクニカルな箇所やグラベルロードも入る MTB レースのようなレイアウトのコースでした。



海南島レース、フライオーバーを走る伊藤



同じくフライオーバーを走る須藤

女子エリートは17名が出走し、RGJ 須藤はトップ同一周回の13位で完走、RGJ 伊藤はマイナス3ラップで完走ならずも15位となり、揃ってUCIポイントを獲得できました。



無事完走を果たし観客の声援に応える須藤

2 レースともに完走を果たした須藤は「出来れば 2 レースとも UCI ポイントを獲得したかったが、何とか 2 レース目で取れて良かった。男子選手 5 人とともにレースに思い切っけて臨めたのは帯同スタッフと現地レース運営のおかげ。心から感謝しています」とコメント。



伊藤は「初めての UCI レース参戦でしたが、とても勉強になった。次回に参戦が叶うなら確実に完走出来るように、更に練習を頑張りたい!」とコメントしました。



レースについての情報は下記に掲載されました。

- ・ 1 試合目「北京」レースレポート (シクロワイアード) <http://www.cyclo wired.jp/news/node/177185>
- ・ 2 試合目「海南島」レースレポート (シクロワイアード) <http://www.cyclo wired.jp/news/node/177603>

・ 八重洲出版「サイクルスポーツ.jp (WEB 版サイクルスポーツ)」速報ニュース
<http://www.cyclesports.jp/depot/detail/52572>

- ・ 1 試合目のレース動画 (中国TV放送) <http://www.letv.com/ptv/vplay/23404550.html>
- ・ 2 試合目のレース動画 (中国TV放送) <http://www.letv.com/ptv/vplay/23425498.html>

男子エリートレースについても、2戦ともに果敢に戦い、先にレースの終わった女子陣は、出来るだけレースをサポートしながら男子エリートの走りを間近で見ることで、また新たにレースを学ぶことが出来ました。



レース後の交流会では各国から集まった選手たちと交流を深めながら、シクロクロスを愛する選手たちの気持ちに国境がないことを改めて感じました。



シクロクロスマガジンの取材を受ける須藤



現地で知り合った女子選手とゴール後に談笑する須藤

かなり早めの時期にシクロクロスの、しかも UCI の最高峰であるクラス1のレースに参加したことで、いつもよりも準備や練習をすることが出来たので、今後の国内シクロクロスにおいても RGJ チーム一丸となって活躍が出来るようにしていきます。併せて、10月ごろまで続くロードレースでも、シクロクロスでつけたパワーは生かせるので引き続き良い結果をご報告できるように頑張っていきます。

最後に重ねて、今回の遠征にご協力いただきました皆様、ご声援をいただきました Ready Go JAPAN チームファンの皆様に、改めて厚く御礼申し上げます。

*オフィシャルスポンサー (順不同・敬称略)

・三和エネルギー株式会社 <http://www.sanwa-energy.com/>

※生分解性潤滑油「BIOBLEND」<http://www.sanwa-energy.com/fuel/biodiesel.html#02>

*オフィシャルサプライヤー (順不同・敬称略)

- ・株式会社 ASK TRADING : BOMA カーボンフレームおよびホイール
<http://www.bomabike.com/>
- ・Champion System Japan : RGJ チームオリジナルジャージ
<http://www.champ-sys.jp/>
- ・ミシュラン (株式会社日直商会) : タイヤ
<http://www.nichinao.co.jp/>
- ・株式会社オージーケーカブト : ヘルメット、アイウエア、ボトル、バーテープなど
<http://www.ogkhelmet.com/>
- ・パワープロダクション (江崎グリコ株式会社) : サプリメント一式
http://www.glico.co.jp/info/pwr_pro/
- ・FALCON (パワーアップジャパン株式会社) : 整備ケミカル用品
<http://www.puj.co.jp/product/index.html>
- ・コーワ株式会社 : 自転車専用輸送箱「BTB 輸行箱」
<http://www.j-kowa.co.jp/>
- ・武田レグウェア(株)、エムエムプランニング(株) : 高機能ソックス「R×L SOCKS」シリーズ
<http://www.bigtoe-takeda.com/>
<http://mmponline.co.jp/>
- ・株式会社キャットアイ : サイクルメーターほか
<http://www.cateye.com/jp/>
- ・アスリート X : スポーツ専用化粧品
<http://www.athletex.jp/>

